

# 都祁散策(貝那木山城ハイキング)コース

## スタート

①都祁白石町 都祁交流センター

日時：令和元年10月19日(土)

9時30分～15時

公益財団法人 奈良市生涯学習財団  
都祁公民館

約0.8km  
徒歩約20分

②八坂神社(白石)

約0.4km  
徒歩約10分

白石西垣内にあり素戔男尊を祀る。祭礼は7月14日。明治30年ごろまでは、近郷から牛を引いてたくさん参っていた。



全行程 約7.8km  
「大和の高原文化をのんびり歩こう!」

⑦ゴール 都祁交流センター

約1.7km  
徒歩約40分

⑥三陵墓古墳群史跡公園(南之庄)



都祁地域には100基を超える古墳が確認されている。前方後円墳2基、その他は円墳で、ほとんどが古墳時代後期に営まれている。都祁地域最大の古墳は、古墳時代中期の三陵墓古墳群である。西古墳は、円墳で直径40m、東古墳は、前方後円墳で、墳丘長110m、南古墳は、直径16mの円墳、となっている。

③国津神社(白石)



由来：都祁白石之北側、水湧庄の中央丘陵・字神子尻に大きな白い石があり、古代信仰を集めていた。国つ神として崇敬せられ、社殿を建立、国津大明神と称せられた。  
たたずまい：神殿背後の神木が実に似合う。境内はすっきりと手入れされている。白い石への執着があるようで、それほど大きくない石だが、祀られている。

国津神社(白石)境内

約0.6km  
徒歩約15分

④雄神神社

由来：三輪さんの奥の院ともいわれ、社殿はなく山を神体とする原始的自然崇拜の信仰形態を今日に伝えている。祭神は出雲健男命。境内には鳥居と拝所、御供所と参籠所がある。

たたずまい：雄神山西麓に鳥居と拝殿があるが、その線は雄神山の頂上に当たっていない。南側にずれている。これは三輪山を神体山とする大神神社と同じずれかたである。

約2.6km  
徒歩約1時間  
後半、600m  
急な坂道



雄神神社境内



拝殿の「金銀銅鉄」の扁額

⑤貝那木山城(通称 城山 標高597m)

都祁の里にある貝那木山城は、天文年間(1532-1555)に多田延実によって築かれた城郭であり、大和高原(都祁の里)の四季の景観を楽しむことができる。多田氏は、鎌倉時代に多田源氏の一族が大和多田庄に移り、山内衆随一の勢力を築いた。多田氏は、室町末期から戦国時代初頭にかけて、勢力拡大の過程で吐山城主吐山氏と争い、吐山氏を圧倒して都祁郷一帯を多田氏が制圧した。



貝那木山城の遠望(6月)



山頂からの眺め

屋食  
休憩



約1.7km  
徒歩約40分

